

佐波川の新しい空間 そして未来へ！ ～小野水辺の楽校～



山口県 防府市

小野水辺の楽校空間利用を考える会



3 活動の成果や波及効果等

行ってきたイベントの中でも、平成20年から始めた「こいながし」は、最初の数年は見られる方がほとんどいませんでした。しかし、報道、口コミ、SNS等によって年々認知度が高まり、令和元年には約1万5千人の方に見ただけのまじになり、遠方からも多くの方が訪れ、地域の賑わい創出につながっています。しかも、佐波川の美しさや風景を守りながら、新しい風景を創り出すことができ、防府市を代表する風景としても扱われるようになりました。

また、多くの方に見ただけのことが、川をきれいにするなど、地域住民の河川への関心向上にもつながっています。



多くの方が訪れるこいながし



水生生物調査の実施



清掃作業は地域のみならず



鮎のつかみ取り

喜びの声



受賞者
小野水辺の楽校空間利用を考える会
代表 石光 徹

コメント
小野水辺の楽校の構想から携わることができ、完成後も色々な活動をした結果、このような名誉ある賞をいただき、大変うれしく思います。

この受賞を励みに、今後も地域の皆様と一緒に活動を盛り上げていき、次世代に繋げていきたいと思っています。

活動の内容
・こいながし（水中鯉のぼり）
・川とのふれあい活動（鮎のつかみ取り、水生生物調査、防災活動など）
・清掃活動

活動の経緯
平成16年 会設立（活動開始）
子どもたちと、「川」について考えていく。
平成20年 小野水辺の楽校完成
平成20年 こいながし開始
川とのふれあい活動や空間を生かした活動を拡大しながら展開中

1 社会資本の概要

山口県防府市は県の中央部に位置し、瀬戸内海、一級河川「佐波川」（さばがわ）や中国山地に連なる山々に囲まれ、豊かな自然を有しています。また、菅原道真公最後の寄港地「防府天満宮」や、幕末の志士が往来した「萩往還」などの史跡も残されています。



小野水辺の楽校

「小野水辺の楽校」は、平成20年に佐波川中流部の小野地区に整備され、佐波川の親水スポットや地域の活動拠点として広く利用されています。特に、5月の大型連休中に行われる「こいながし」は、県内外から多くの観光客が訪れるイベントです。



佐波川と「こいながし」

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

佐波川は県下有数の河川でありながら、地域における関心は決して高くなく、地域資源としても十分に活かされていない状況でした。

そこで、国の事業によって水辺の楽校が整備されることを契機に、地域における河川への関心を高め、また、地域の発展につなげたいと「小野水辺の楽校空間利用を考える会」を立ち上げました。活動では、

水辺の楽校のデザインに子どものアイデアを反映させるべくワークショップを開催したり、水辺の楽校完成後は、スポーツ大会、鮎のつかみ取り、地域の祭りの花火打ち上げなど、大小様々なイベントを行っています。時には上手くいかなかったイベントもありますが、どうすれば地域が賑わうかを模索しながら活動を行っています。



子どもたちとワークショップ



川を知る活動



小野水辺の楽校オープニング

所在地
山口県防府市奈美地先

活動主体及び連絡先
小野水辺の楽校空間利用を考える会
(090-2095-1432 代表：石光)

対象となる社会資本
佐波川（※管理者：国土交通省）
小野水辺の楽校（※管理者：防府市）



手づくり郷土賞
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞
について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編